

令和2年度 秩父別町行政執行方針

令和2年3月10日に開催された
第1回町議会定例会で、町長が述べた
今年度の行政執行方針をお知らせします。



「住んで良かった・生まれて良かった」
と思えるまちづくり

令和2年第1回町議会定例会が開催され、本年度の各会計予算のご審議をいただくにあたり、町政運営の基本的な考え方及びその方針についてご説明申し上げます、議員各位並びに町民の皆さんのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

昨年の基幹作物の水稲は、8月の低温と日照不足の影響により一部品質の低下がみられたものの、作況指数は105と2年ぶりの豊穡の出来秋となり、農家の皆さんのご苦労の汗が報われた1年となりました。

農業を取り巻く情勢は、人口減少・高齢化社会の進行、担い手不足、国際的な貿易交渉による輸入農産物の関税撤廃など厳しい状況にあります、国には生産者の不安を払拭し、意欲あ

る農家の努力が報われる万全な対策を講じるよう強く望むところであります。

国では、消費税の増収分を活用した社会保障制度の構築と総合経済対策を着実に実行するため、令和2年度一般会計の総額を過去最大の102兆6580億円とする予算案が編成されたところであります。

また、地方財政対策では、地方交付税は2.5%の増、赤字地方債である臨時財政対策債は3.6%の減となりましたが、一般財源総額は前年度より0.7兆円上回る63.4兆円の予算が確保されたところであります。

自主財源に乏しく、地方交付税や国・道支出金に大きく依存している本町にとりましては、厳しい財政状況が続くことから、将来を

見据えた適切な財政運営に努めていかなければならないと考えております。

本年度は、人口減少と地域経済縮小を克服するため、令和2年度から6年度までの5年間で期間とする、第2期秩父別町まち・ひと・しごと創生総合戦略のスタートの年であります。

限られた予算の中、「あれもこれも」の姿勢から「あれかこれか」の的確な選択により、費用対効果を十分に見極め、町民の皆さんと同じ価値観を共有しながら、「この町に住んで良かった・生まれて良かった」と思えるまちづくりを目指して、各種施策を推進してまいりますのでご理解を賜りますようお願い申し上げます。



各課における主要な施策

総務課所管

▼災害対策

○防災行政無線を更新し、町内全戸に戸別受信機を無償貸与して、防災情報の伝達体制を強化します。

○自主防災組織の育成、強化を図るため、自主防災組織の活動に対し支援を行います。

▼公共施設照明LED化

○小学校、生涯学習センター、老人福祉センターなど14施設の照明をLEDに改修します。

▼公共施設の管理

○平成29年3月に策定した「公共施設等総合管理計画」に定めた目標を実現していくため、施設ごとの更新や改修など具体的な計画となる個別施設計画を策定します。

▼消防

○消防団員の防火衣一式を更新します。

○老朽化した中央西あかしや団地の防火水槽1基を改修します。

企画課所管

▼総合戦略

○第2期秩父別町まち・ひと・しごと創生総合戦略において、第1期の基本的政策の枠組みを継続しつつ、人口減少を抑制し、次世代に向けて更なる発展を遂げ、いつまでもこの地で暮らすことに幸せを感じられるまちづくりを推進します。

▼移住・定住対策

○結婚祝金や住宅用地・新築住宅取得・住宅リフォームに係る助成制度に加え、新婚・子育て世帯の家賃及び引越し費用並びに町内就

業者向けの家賃助成制度を継続し、町民の皆さんが永く快適に住み続けられる住まいづくりを支援します。

○東京圏への一極集中の是正とU・Jターンによる起業・就業者創出を促すため、地方創生移住支援事業を継続し、東京圏からの移住促進を行います。

▼国際交流・インバウンド推進

○タイを中心とした東南アジアへの情報発信や外国人留学生との交流事業を継続し、交流人口・関係人口の創出・拡大に向けた取り組みを推進します。

▼地域おこし協力隊

○現在1名の隊員が活動していますが、引き続き隊員の雇用・確保に向けた取り組みを推進します。

▼街路灯のLED化

○電気料金の削減効果が大きいLED化を年次計画で進め、本年度は国道沿いの街路灯の電球及び農村地区の街路灯をLEDに改修します。

▼秩父別温泉

○開館30周年を迎えることから、町内全世帯に「開館30周年記念・特別優待券」を配付し、利用促進を図ります。

○宿泊施設及び多目的研修施設の老朽化が著しいため、大規模改修を行うとともに、シユーブロッカーや宴会テーブル等の備品を更新します。

▼特産品

○トマトジュース「あかざきんちゃん」の原料生産者に対する作付奨励助成制度を継続します。

○ミニトマトをブランドした付加価値の高いトマトジュースの製造・販売に取り組めます。

▼ベルパークちっぷべつ

○減少する冬期間の集客を図るため、スノーモービル・バナボート等を新たに購入し、道の駅周辺を拠点とした冬のアクティビティの開発と各施設と連携した事業を実施します。



▼協働のまちづくり

○町民の皆さんがあらゆる角度からまちづくりに参画できるよう「公用車貸出事業」及び「まちづくり・まちおこし補助金」制度を継続します。

▼JR北海道・留萌本線

○留萌本線沿線自治体との連携を図り、置かれた現状を踏まえながら、引き続き存続の可能性を探ります。